

かぶら

令和7年2月27日

高崎市立かぶら幼稚園

12号

3学期制の中で一番短い3学期ですが、卒園式・修了式まで残すところ3週間強となりました。間もなく3月に入ります。

3月といえば、ひな祭り・卒業式シーズンです。今回は、ひな祭りについて調べてみました。

【ひな祭り】

ひな祭りとは、3月3日の桃の節句のことで、女の子のお祝いをする日。女の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いをします。

どうして雛人形を飾るのかというと、雛人形は、子どもたちの代わりに病気や事故から守ってくれるとされています。そのため、女の子が元気で幸せになるようにお祝いや願いを込めて飾ります。昔は、紙で雛人形を作って、病気やけがなどのよくないものを持って行ってもらうように川に流す「流し雛」をしていたそうで、今でもその風習が継続されている地域もあります。だんだんと雛人形が素敵なものになってきたので、今は飾ることが多くなりました。雛人形は、ひな祭りが終わったらできるだけ早くしまうのが良いとされています。関東などでは一般的に、お内裏様（お殿様）を向かって左、お雛様を向かって右に飾ります。古式を好む京都などでは反対に飾るところが多いそうです。

どうして「ひなあられ」を食べるようになったのかというと、ひなあられには、ピンク・白・緑の色があって、この色にはそれぞれ意味があります。

（諸説あり、下記とは違った意味の捉え方もあるそうです）

- ・ピンク…生命
- ・白…雪の大地
- ・緑…木々の芽吹き

この3色のひなあられを食べることで、自然のエネルギーを得て元気で丈夫に育つとされているそうです。4色のひなあられもあって、四季を表しているという説もあります。

なぜ、ちらし寿司やハマグリを食べるようになったのかというと、ハマグリは縁起のいい食べ物とされていたからです。ちらし寿司には、縁起の良いものを入れてひな祭りの日に食べてお祝いします。

桜餅も右のように、関東地方と関西地方では違いがあるようです。



関東地方



関西地方

2月の園生活



豆まき



たんぽぽ組



リスクラブ



さくら組



虹



すみれ組



小学校訪問